

大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略【概要版】

総合戦略の位置づけ

- 趣旨 : まち・ひと・しごと創生法に基づき、策定
大阪市人口ビジョンを踏まえ、施策の目標・基本的方向と具体的な施策をとりまとめるもの
- 計画の対象期間 : 平成27年度から平成31年度までの5年間

認識 ・人口減少、高齢化の更なる進展は、社会全体の活力低下を招くことが懸念される、先延ばしのできない大きな課題

展望 ・出生率が大幅に増加し、現状の人口流入規模が維持できれば、人口の減少に歯止めがかかり、大阪の活力を維持していくことが可能となる。
・人口減少に対する特效薬はないが、中・長期的な視点から、適切な対策を速やかに講じることが必要

総合戦略の方向性

東京と並び日本をけん引する第二極として国内外からヒト・モノ・カネ・情報が集まる魅力と活力あふれる大阪の実現

現役世代、とりわけ若者・女性の活躍促進及び子育て・教育環境の充実と、出生率の増加

誰もが健康でいきいきと安心して暮らし続けられる地域づくり

地域団体、市民、NPO、企業など多様な活動主体との連携・分担

施策の柱立て

基本目標① 魅力と活力あふれる大阪をつくる

- 大阪経済の活性化
- 都市魅力の創造・発信

基本目標② 若者・女性が活躍できる社会をつくる

- 就労支援と雇用の促進
- 女性の活躍促進
- すべての子どもの成長を社会全体で支える仕組みの充実
- 子どもや保護者の期待に応える学校づくり

基本目標③ 健康で安心して暮らし続けられる地域をつくる

- 市民生活の安全・安心の確保
- 地域の実情に即した特色ある施策の展開と地域コミュニティの活性化

数値目標

実質成長率、来阪外国人数、東京圏への転出超過人口

数値目標

合計特殊出生率、保育所等利用保留児童数、若者の就業率、女性の就業率

数値目標

健康寿命、街頭犯罪5手口（ひったくりなど）の発生件数